

第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

令和4年度実績について

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減等を目的に策定している。（平成31年3月に第4次計画を策定）

1 市の事務事業からの温室効果ガス排出状況

- 2022年度に市の事務事業から排出された温室効果ガスは67,061 t-CO₂で、基準年度（2013年度）比で19.3%の削減となり、本計画（第4次）の削減目標（基準年度比-3.5%）を上回った。また、目標値（2022年度）に定めていた77,032 t-CO₂に比べて12.9%の削減となり、目標を達成しました。

■ 令和4年度実績値及び基準年度等との比較（二酸化炭素換算）

単位：t-CO₂

年度	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
排出量	83,176	82,361	81,187	81,484	79,826	76,594
基準年度比	-	-0.9%	-2.3%	-2.0%	-4.0%	-7.9%

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (R4年度)
排出量	68,986	70,921	65,452	67,061	77,032
基準年度比	-17.0%	-14.7%	-21.3%	-19.3%	-7.3%

※目標値は2018年度に策定した計画で設定。2023年度に見直し予定。

■ 温室効果ガス削減状況の概要

主な削減理由としては、火力発電の減少や再生可能エネルギーの導入拡大によるほか、夏季、冬季の電力需給ひっ迫に備えて各施設で節電対策を講じたことや、燃料の価格高騰による電気使用量の削減、燃やすごみの中の廃プラスチックの焼却量が減少したことが挙げられる。

一方で、一部の施設では感染症による制限が緩和され、開館日数が増加したこと、猛暑による冷房使用量が増加したことで排出量が増えた施設や、大雪による融雪設備の稼働増に伴い、昨年度と比較し電気使用量や都市ガス使用量が増加した施設があった。

■ 今後の取組

温室効果ガス排出量は、社会情勢や気象条件等により増減があるものの更なる削減に向け、市が率先した取組を行う。

○冷暖房の適正運用

冷暖房の適正運用を徹底し、都市ガス等の使用量を削減

○継続した省エネ行動の推進

クールビズやウォームビズ、節電、ノー残業デーの徹底等による省エネ行動の推進

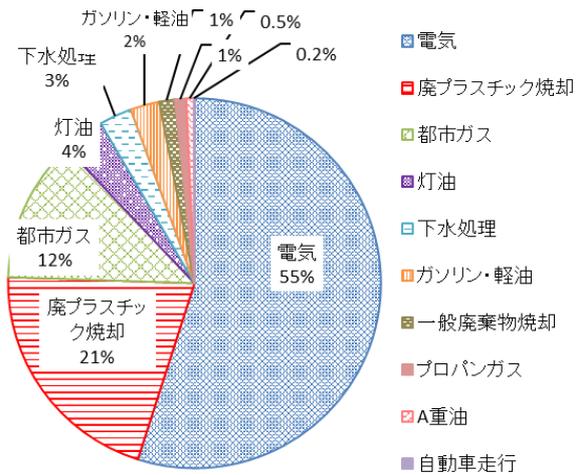
○プラスチックごみ※の削減

- ・プラスチックごみの分別の徹底と排出抑制
- ・レジ袋や、ストロー、フォーク等の不必要な使い捨てプラスチック製品の使用を自粛

※プラスチックごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量は市の事務事業全体の 20.6%

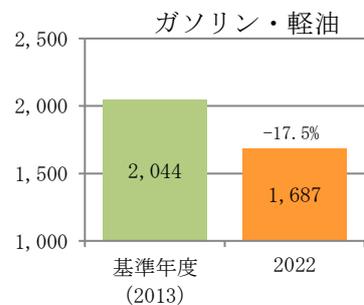
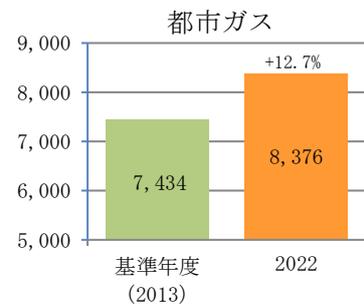
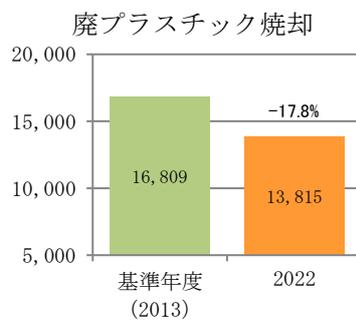
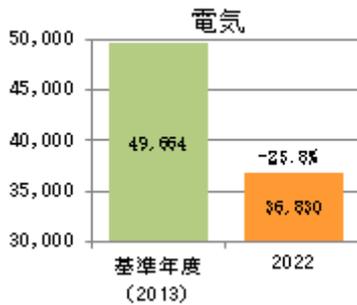
2 排出源別の温室効果ガス排出状況

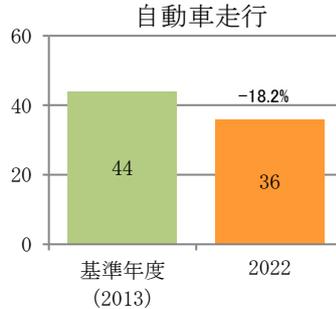
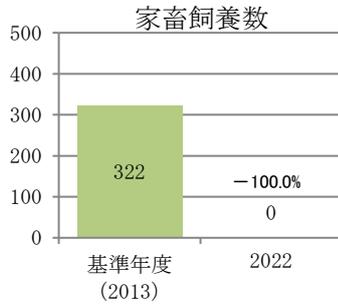
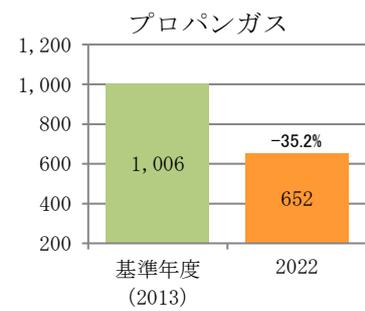
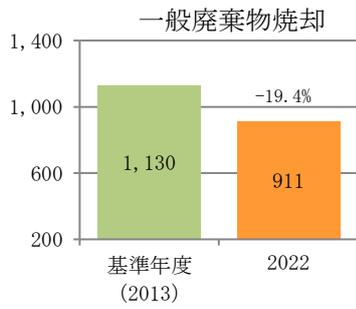
■排出源別の温室効果ガス排出量割合



- ・レジ袋の有料化等に伴い、廃プラスチックの廃棄量が減少したことにより、「廃プラスチック焼却」による温室効果ガスの排出量が減少した。
- ・一方で、昨年度より新型コロナウイルス感染症による施設利用等の制限が緩和され「都市ガス」による温室効果ガスの排出量が増加となった。

■排出源ごとの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)





※端数を調整しているため、増減率が合わないことがある。

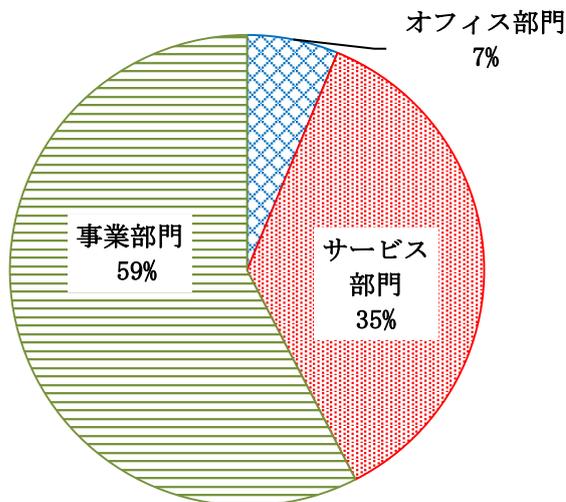
※1 燃料の使用に伴う温室効果ガス排出量

※2 平成30年度末 市営牧場廃止

※3 自動車の走行に伴う温室効果ガス排出量

3 部門別温室効果ガス排出状況

■部門別の温室効果ガス排出量割合



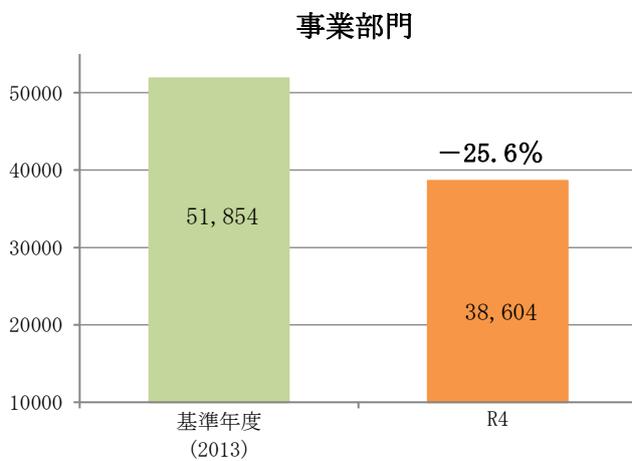
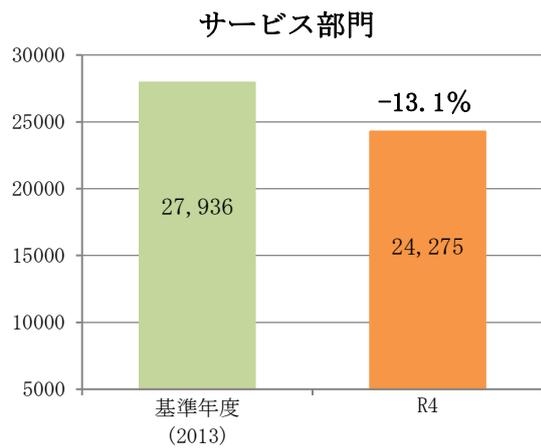
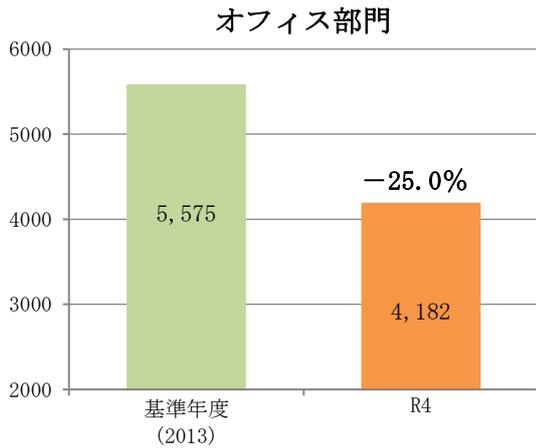
- ・すべての部門において基準年度より排出量が削減された。
- ・事業部門においては、「廃プラスチック焼却」による温室効果ガスの排出量が減少した。要因として、レジ袋の有料化に伴い廃プラスチックの廃棄量が減少したことが挙げられる。

オフィス部門：主に事務を行う施設

サービス部門：主に市民が利用する施設

事業部門：ごみ処理や上下水道などの現業を行う施設

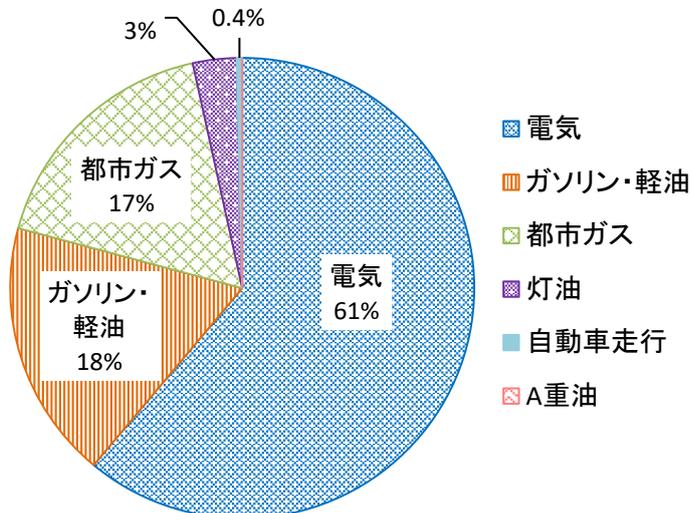
■部門ごとの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(1) オフィス部門

対象施設：本庁舎、さいわいプラザ、大手通庁舎、市民センター庁舎、各支所、水道局舎、消防庁舎ほか

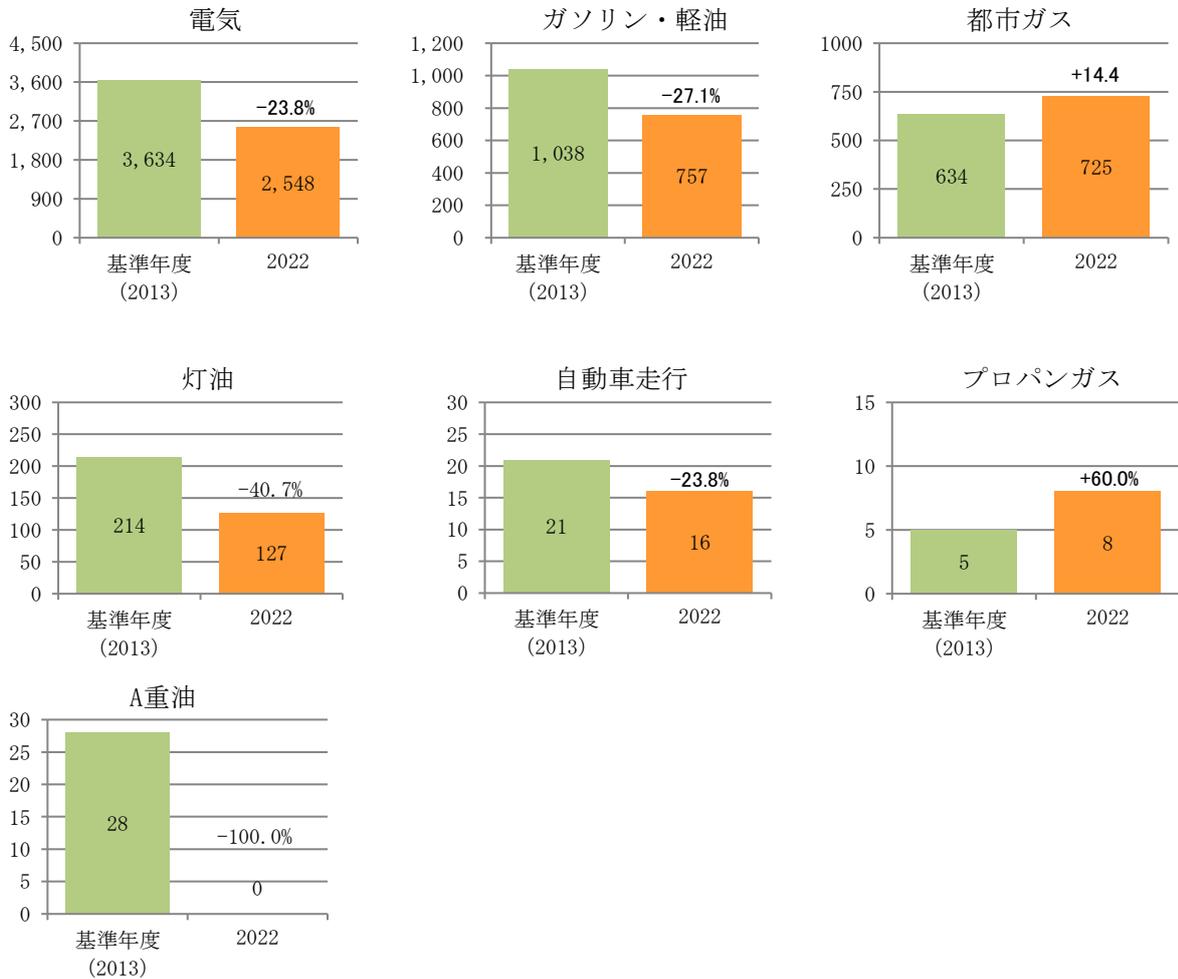
オフィス部門の排出量分布



・ オフィス部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で 1,393t-CO₂ 削減された。
 ・ 削減量としては、夏季、冬季の節電対策により、主に電気、灯油による排出量が削減された。

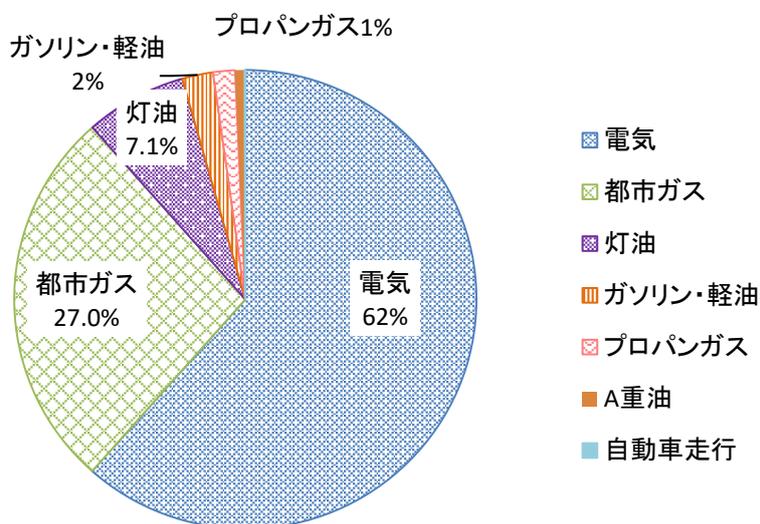
■ オフィス部門の排出量分布

■ 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(2) サービス部門

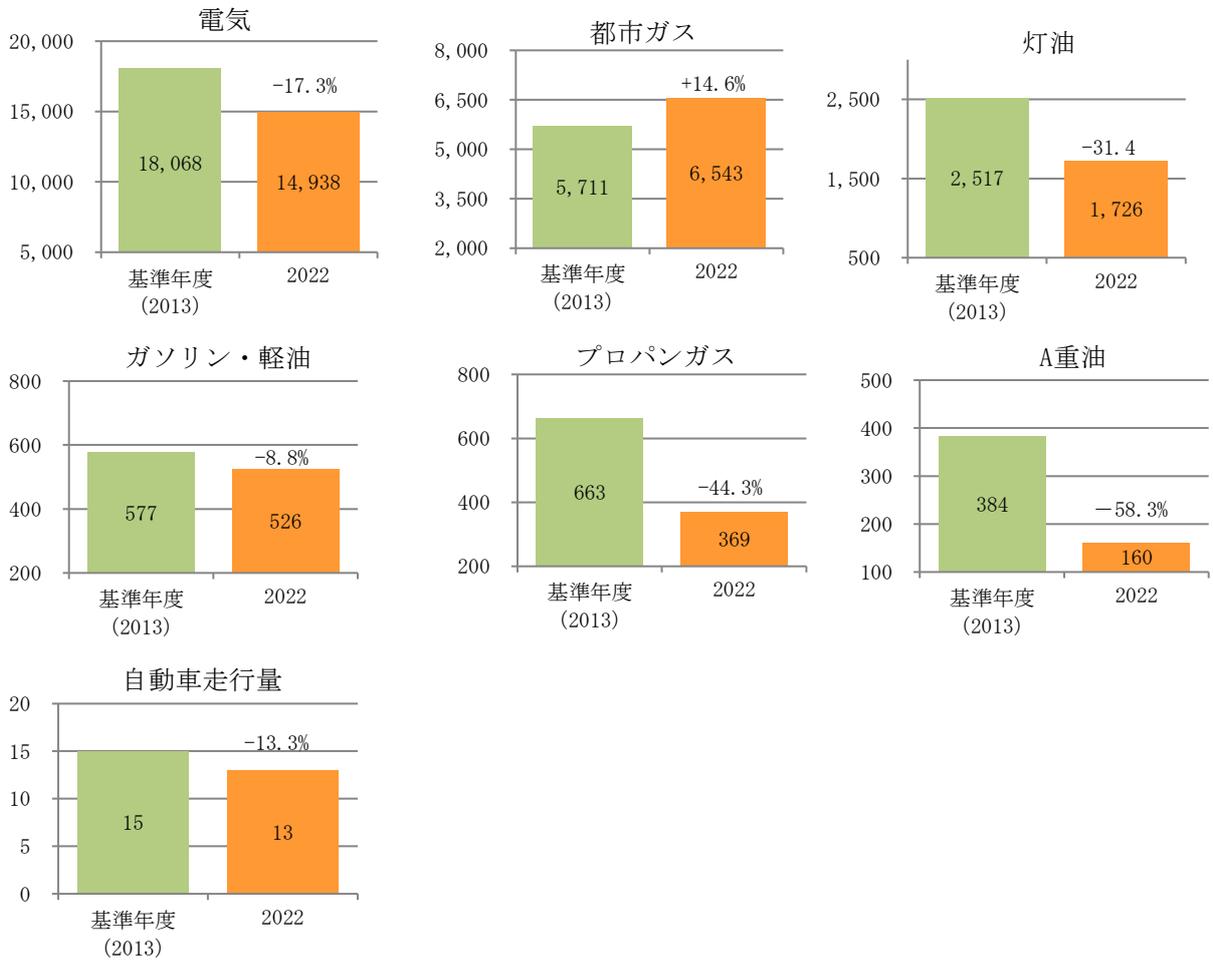
対象施設：市民センター、学校、保育園、コミュニティセンター、体育施設、福祉施設、図書館ほか



- ・ サービス部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で 3,660t-CO₂ 削減された。
- ・ 都市ガスのみ基準年度比で温室効果ガス排出量が増加した。これは、主に冬季の暖房使用の増加やコロナ禍における感染対策が緩和されたことによるもの（体育施設の利用再開に伴う暖房、温水設備の使用量増）
- ・ 削減量としては、電気が最も多い（基準年度比 3,130t-CO₂ 削減）

■ サービス部門の排出量分布

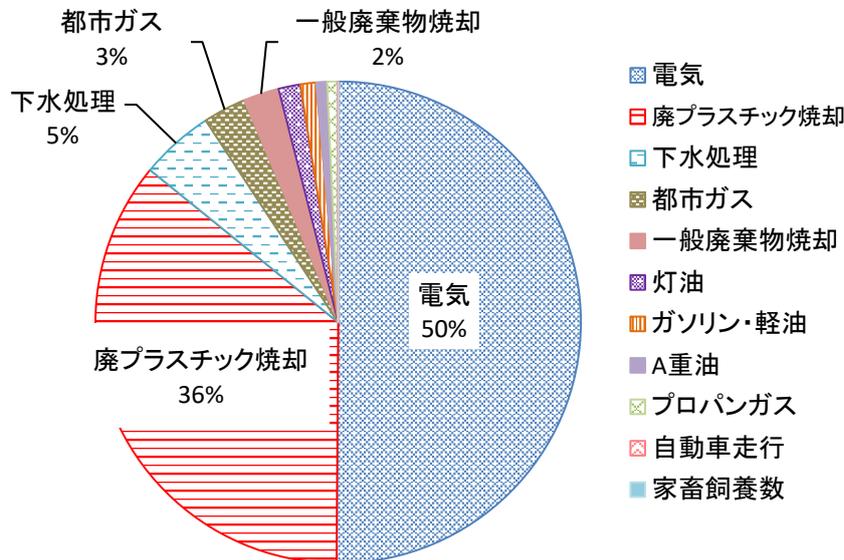
■ 排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



(3) 事業部門

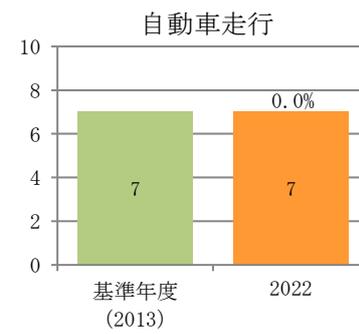
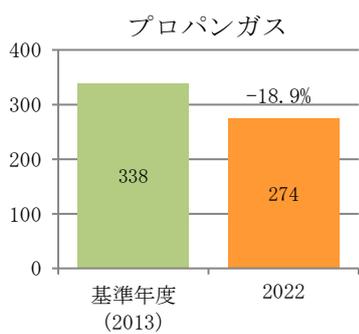
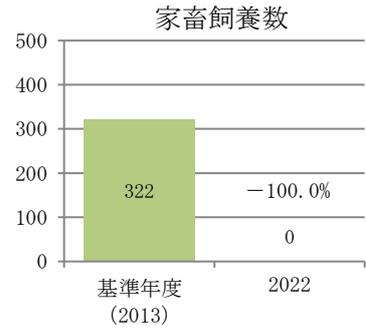
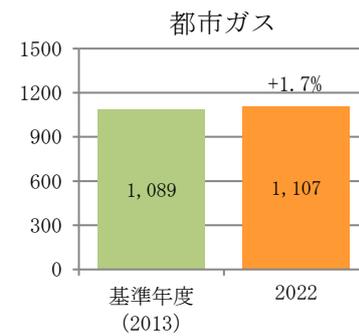
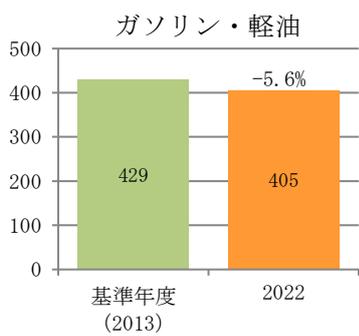
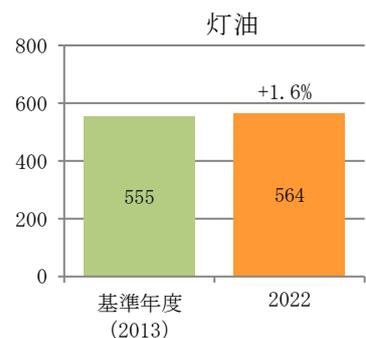
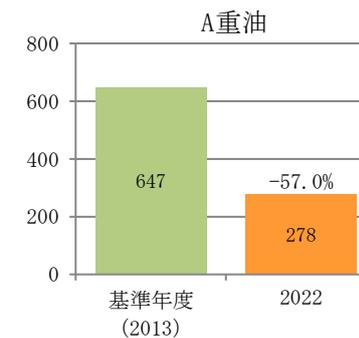
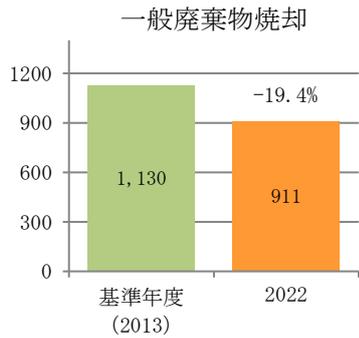
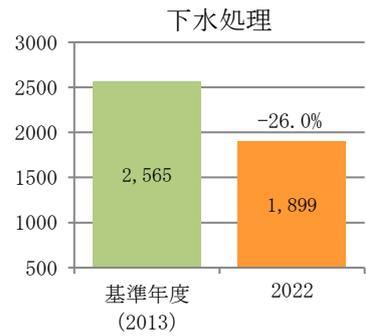
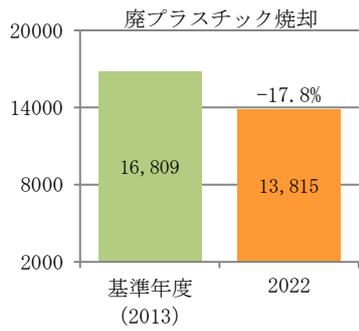
対象施設：ごみ処理施設、浄水施設、下水処理施設、消防署、斎場、学校給食、調理施設ほか

■ 事業部門の排出量分布



- ・ 事業部門の温室効果ガス排出量は、基準年度比で 13,250t-CO₂ 削減された。
- ・ 都市ガスのみ基準年度比で温室効果ガス排出量が増加した。これは、施設の空調設備の切替や暖房使用の増加によるもの
- ・ 夏季、冬季の節電により、電気使用に伴う排出量が 8,619 t-CO₂ 削減された。

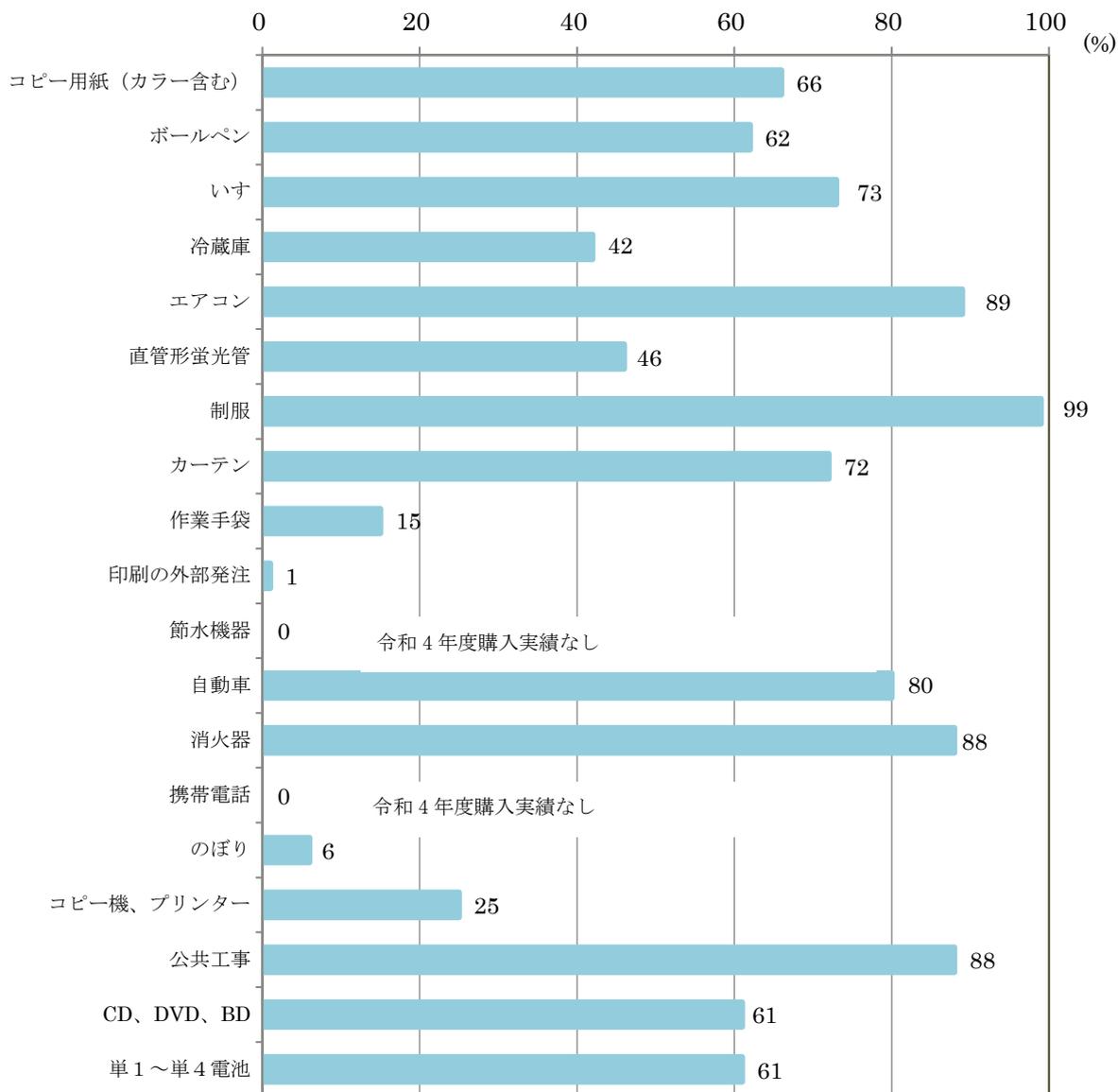
■排出源別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



4 グリーン購入法に基づく物品等の調達状況

第4次長岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の事務事業において物品等の調達が必要な際には、グリーン購入法適応のものを優先的に調達するよう努めた。

令和4年度 グリーン購入率（全体）66.1%



5 紙・水の使用状況及びごみの排出状況

